



※マホータイの情報が見られます
<https://www.ori-hara.co.jp/top-mahotai/>

ステンメッシュセット

取扱い説明書

※このセットには以下のものが入っています。

【STM-1の場合】・・・修理適用穴寸法 50mm×40mmまで(注)

- ステンメッシュ(100mm×80mm：1枚)
- オリスチール(寸法 130mm×1本)
- 取扱い説明書
- 手袋(1双)

【STM-2の場合】・・・修理適用穴寸法 100mm×80mmまで(注)

- ステンメッシュ(160mm×140mm：1枚)
- オリスチール(寸法 180mm長×2本(以前は90mm長が4本同梱でした))
- 取扱い説明書
- 手袋(2双)

(注) 但し、この範囲の穴であっても、管の呼び径に対して、管自体の強度を損なうような割合で破損している穴には、修理出来ません。

※修理するパイプ呼び径に合ったマホータイを事前に準備して下さい。

用意するマホータイの長さ(m) = 管の呼び径(mm) × 0.06

(例) 呼び径200mmのパイプの場合・・・

$$200 \times 0.06 = 12m$$

∴ 12mに近いマホータイ、MT-440Sを用意。

(マホータイの長さ)

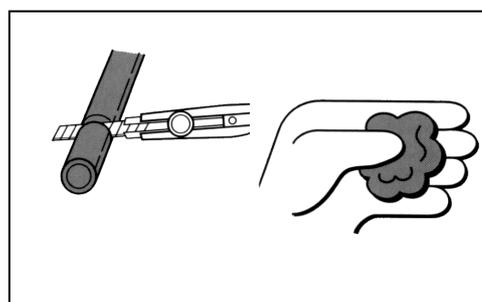
MT-415S	4.5m
MT-420S	6.0m
MT-430S	9.0m
MT-440S	12.0m
MT-450S	15.0m

以上

ステンメッシュの使い方

※この作業を始める前に、必ずパイプの呼び径に合った「マホータイ」を用意して下さい。

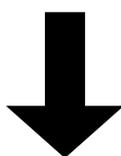
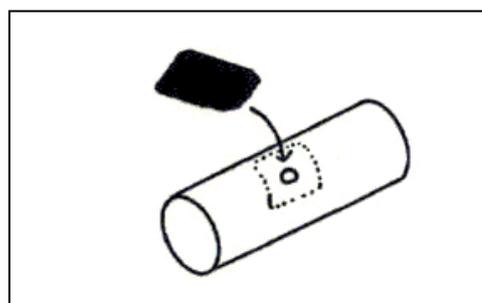
- ①まず始めに、パッケージからオリスチール（棒状のパテ）を取り出し、透明フィルムを取り除き、全体が均一なグレーになるまでよく練ります。
（STM-2は、2本を二人で1本ずつ持ち、同時に練ってください）



- ②上で練ったオリスチールを二等分し、ステンメッシュの大きさで、両面に塗り付けます。
（オリスチールで、ステンメッシュをサンドイッチにします）



- ③オリスチールでサンドされたステンメッシュを、パイプの穴（破損箇所）を覆うようにかぶせます。そして、ステンメッシュの上から、密着するように、穴の周辺をきつく押し付けます。特に、周辺部分をよく押し付けて下さい。
（この時、オリスチールがステンメッシュからはみ出てもかまいません。）



- 以上で、ステンメッシュの貼り付けは終わりました。すぐ続けて、別途用意したマホータイを、添付の説明書に従い巻き付けてください。
（すでにオリスチールの硬化がはじまっています。オリスチールがある程度硬化してからでは、マホータイの止水効果が得られません）

